

## 伊豆諸島からのアリモドキ科の記録

亀澤 洋

〒350-0825 川崎市月吉町 32-17 (kamezawahiromu@gmail.com)

## Faunistic notes on Anthicidae (Tenebrionoidea) from Izu Islands, Japan.

Hiromu KAMEZAWA

これまでに伊豆諸島から知られるアリモドキ科(ゴミムシダマシ上科)は、わずかに4種のみで、その多くは東京農業大学の1950～60年代の調査によって確認された種である。最近の記録としては、八丈島に分布する甲虫を精力的にまとめた川畑によるところが大きい。

筆者は伊豆諸島のうち、伊豆大島、御蔵島、青ヶ島の各島に、2012年10月1～4日、2013年5月27～31日(以上、伊豆大島)、2012年7月1～8日、2013年5月11～17日、同年6月16～19日(以上、御蔵島)、2014年6月30日～7月3日(青ヶ島)の期間に滞在し、わずかながらアリモドキ科を確認した。

これまでの文献記録を整理して今回の調査で得

られた種を追加するとともに、ヒゲブトホソアリモドキについては記録のもととなった標本の調査を行ったので報告する。

1. キアシクビボソムシ *Macratrìa japonica* Harold, 1877

【文献記録】八丈島(川畑, 2010)  
八丈島からのみ記録されている。

2. ケオビアリモドキ *Anthelephila imperatrix* LaFerté-Sénéctère, 1849

【文献記録】三宅島(渡辺・相馬, 1972)、御蔵島(澤田・渡辺, 1969)、八丈島(野村, 1960; 中根, 1978; 川畑, 2010)、八丈小島(沢田・渡辺, 1959)



図1. 伊豆諸島のアリモドキ科甲虫。A, ケオビアリモドキ(青ヶ島産); B, クロオビホソアリモドキ(伊豆大島産); C, 国立科学博物館所蔵の八丈島産ヒゲブトホソアリモドキとそのラベル(下), いずれもスケールは0.5 mm。

【採集データ】5 exs., 東京都御蔵島村里, 15. V. 2013; 2♂1♀, 青ヶ島村岡部, 3. VII. 2014, 筆者採集・保管.

青ヶ島初記録. 従来, 日本の凶鑑類などでは *Anthelephila cribriceps* (Marseul, 1876) が当てられてきたが, Krekich-Strassoldo (1913) によって下位シノニムとされていた. この措置について Kejval (2007) は日本を含め, 中国, 台湾, インド, ネパール, ベトナム, インドネシア, フィリピン, ハワイ島, グアム, サイパンなど, 広範な地域から得られた標本多数を検した結果, 地域変異を認めながらもすべて同一種として扱っている.

### 3. ヒゲブトホソアリモドキ *Anthicus monstrosicornis* Marseul, 1877

【文献記録】八丈島 (野村, 1961)

伊豆諸島からは上記のように八丈島からのみ記録されているが, 記録文献が現在では入手困難なため見過ごされている場合も少なくないようである. 野村 (1961) には八丈島で得られている以外の情報はなく, データが示されていない. 野村鎮コレクションは現在, つくば市の国立科学博物館に収蔵されているため, この記録のもととなった標本が存在しないか調べたところ, 以下のように標本が見出されたのでデータを示す.

【標本データ】1♂, 三根村八丈島 Izu, Japan 13-15/VII-1940 M. Higashino (A. Yoshida の同定ラベルつき); 1♂1♀, (Mitsune) Hachijo-Is. Japan (July 19th, 1961) Coll. Y. Watanabe.

### 4. クロオビホソアリモドキ *Anthicus protensus* Marseul, 1877

【採集データ】1 ex. (死骸), 大島町野増間伏砂の浜海岸, 30. V. 2013. 筆者採集・保管.

伊豆諸島および伊豆大島初記録. 海岸部の砂浜で漂着ゴミの下から死骸を得た.

### 5. アカボシホソアリモドキ *Sapintus (Sapintus) sodalis* (Pic, 1895)

【文献記録】八丈島 (川畑, 2010)

八丈島からのみ記録されている.

以上, 伊豆諸島からは既知4種にクロオビホソアリモドキ1種が追加された. 伊豆諸島内の比較的広い範囲で確認されているケオビアリモドキを除けば, 八丈島からだけ知られている種が3種, 伊豆大島からのみで確認された種が1種である. 中部の利島, 新島, 式根島, 神津島からは何も確認されておらず, 全体的に調査不足の印象はぬぐえない. 今後の調査によって他島のアリモドキ相も明らかになるものと期待したい.

なお, 今回の調査・研究の一部は, 科研費基盤研究(C)の「伊豆諸島の甲虫類の種および遺伝的多様性の解明とホットスポット推定」(課題番号: 24510333; 代表者: 小島弘昭)の助成を受けている. 野村周平博士には国立科学博物館所蔵の野村鎮コレクションの調査に協力していただいた. 両博士に厚くお礼申し上げる.

また, 文献入手に際して助力くださった平野幸彦氏(小田原市)にも心よりお礼を申し上げます.

### 引用文献

- 川畑喜照, 2010. 伊豆諸島八丈島の甲虫VI. 神奈川虫報, (170): 21-30.
- Kejval, Z., 2007. Studies of the genus *Anthelephila* Hope (Coleoptera: Anthicidae)-10. Species related to *A. imperatrix*. Revue suisse de Zoologie 114 (3): 615-653.
- Krekich-Strassoldo, H. von, 1913. Neue Anthiciden und Mitteilungen über die Verbreitung bekannter Anthiciden. Wiener Entomologische Zeitung 32: 223-232.
- 中根猛彦, 1977. 小笠原諸島に分布する一部の甲虫について(新種記載を含む). 国立科博専報, (10): 147-162.
- 中根猛彦, 1978. 伊豆諸島および小笠原諸島に産する若干の興味ある甲虫について(新種記載を含む). 国立科博専報, (11): 155-161.
- 野村 鎮, 1960. アリモドキ科覚え書 [I]. 自然の観察, むさしの自然研究会, (11): 1-2.
- 野村 鎮, 1961. アリモドキ科覚え書 [III]. 自然の観察, むさしの自然研究会, (15): 2-4.
- 沢田玄正・渡辺泰明, 1959. 八丈小島の昆虫相. 東京農業大学農学集報, 5(2): 47-63.
- 澤田玄正・渡辺泰明, 1969. 御蔵島の昆虫相. 東京農業大学農学集報, 14(1): 1-48.
- 渡辺泰明・相馬州彦, 1972. 三宅島の昆虫相. 東京農業大学農学集報, 17(1): 1-58.

(2016年6月28日受領, 2016年9月12日受理)